

公表

事業所における自己評価総括表

○事業所名	あさぎり音楽堂児童デイサービス			
○保護者評価実施期間	2025年12月3日		～	2026年1月19日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	22名	(回答者数)	20名
○従業者評価実施期間	2025年12月10日		～	2026年1月10日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	7名	(回答者数)	6名
○事業者向け自己評価表作成日	2026年1月15日			

○ 分析結果

	事業所の強み（※）だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	定期的な保護者様との面談や日々の送迎時の情報共有などを通して、各児童の特性の理解把握に努め、課題等を個別支援計画書に反映することで、日々の療育プログラムにもつなげている点など。	普段から保護者と信頼関係が築けるよう、情報交換に努めて理解に努めていること。支援の5項目を見やすくわかりやすい一覧表にして提示するなど、モニタリング面談にて活用している。職員間の情報共有にも努めています。	更に細やかな視点を持ち、児童さんや保護者の方のニーズに即した支援プログラムが作成できるように取り組みたい。
2	利用している児童さんが安心して楽しみに通えている様子が確保できているところ。	安心して安全に過ごせるような環境づくりに努めて、各児童さんの得意な面が活かされて自己表現や自己実現の場面が持てるように配慮して支援しています。	より安全面などの危険回避と環境づくりに努めていきたいと思います。
3	保護者との情報交換を通して、子どもさんの共通理解や相談しやすい雰囲気の中で支援が実施できている点。	公式LINEや送迎時・面談時の情報交換を相互に行い、共通理解やご相談に応じるべく努めています。	今後も、共通理解を土台によりよい支援につなげていきたいと思っています。

	事業所の弱み（※）だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	環境・体制整備に関して、不十分な面があること。（手洗い場所など）	限られた室内空間の条件の中であり、設備が増設しづらい面があります。	今後、可能な範囲で設備の増設などを検討していきたいと考えています。
2	保護者会の開催や、保護者同士の交流の機会の提供、兄弟同士の交流の機会などの提供ができていない事。	日々の業務を行いながらの時間的な調整も難しく、様々な条件もあり、機会の提供はできていません。（希望されない保護者の方もおられる可能性があります）	今後、可能な方法で保護者間の交流などの機会を検討していきたいと考えています。（保護者の方の希望も伺いつつ）
3	各種マニュアルの保護者に対する周知や説明があまり実施できていない事。	定期的な面談の機会には、支援計画や保護者との話し合いの時間が優先となり、マニュアル等の説明があとまわしになりやすい。	今後は、契約時や面談時にマニュアルの提示や説明も実施できたらと考えております。

公表

保護者等からの事業所評価の集計結果

事業所名 あさざり音楽堂児童デイサービス

公表日 2026年1月26日

利用児童数 2025年12月2日時点 26名

回収数 20名

		チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	わからない	ご意見	ご意見を踏まえた対応
環境・ 体制 整備	1	こどもの活動等のスペースが十分に確保されていると思いますか。	17	2	0	1	(特になし)	今後も活動に適切なスペースを確保していきたいと思います。
	2	職員の配置数は適切であると思いますか。	16	1	1	2	・職員数が少ないのでは…	職員数基準は満たしていますが、特に個別対応が必要な児童に対して、さらに職員体制を調整して充実した療育体制を作ってまいります。
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっていると思いますか。また、事業所の設備等は、障害特性に応じて、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされていると思いますか。	18	1	0	1	見学に行った時、お気に入りの場所をすぐに作っていました。	利用児童さんに分かりやすく構造化した環境の構築を引き続き行ってまいります。
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっていると思いますか。また、こども達の活動に合わせた空間になっていると思いますか。	19	1	0	0	(特になし)	大型の楽器を移動して空間を確保し、清掃や消毒などにも配慮して快適な空間の維持に努めます。
適切 な 支 援 の 提 供	5	こどものことを十分に理解し、こどもの特性等に応じた専門性のある支援が受けられていると思いますか。	18	1	0	1	モニタリングでいつも確認してくれていてありがたいです。	今後も継続して、各こどもさんの特性に応じた支援に努めたいと思います。
	6	事業所が公表している支援プログラムは、事業所の提供する支援内容と合っていると思いますか。	20	0	0	0	(特になし)	今後も継続して支援プログラムに応じた専門性ある支援を実施していきたいと考えます。
	7	こどものことを十分に理解し、こどもと保護者のニーズや課題が客観的に分析された上で、放課後等デイサービス計画（個別支援計画）が作成されていると思いますか。	20	0	0	0	・子どもの特性や様子を十分理解した上で、一緒に考えてくださるので安心して預けられます。	今後も、子どもさんの十分な理解に努め、また保護者の方のニーズや課題にも応じた支援に努めます。
	8	放課後等デイサービス計画には、放課後等デイサービスガイドラインの「放課後等デイサービスの提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」で示す支援内容からこどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されていると思いますか。	20	0	0	0	(特になし)	今後も継続して、必要な項目を適切に設定、具体的な支援目標を設定して支援に努めます。
	9	放課後等デイサービス計画に沿った支援が行われていると思いますか。	20	0	0	0	(特になし)	今後もより放課後等デイサービス計画に沿った支援を目指していきます。
	10	事業所の活動プログラムが固定化されないよう工夫されていると思いますか。	20	0	0	0	(特になし)	今後もさらに様々な活動プログラムを取り入れて支援したいと考えています。
	11	放課後児童クラブや児童館との交流や、地域の他のこどもと活動する機会がありますか。	8	4	3	5	本人がまだそれが出来ていませんが（嫌がるので）イベント等の機会は設けてくれていると思います。	利用児や保護者の方のご意向も鑑みつつ、イベントへの地域の子どもさんとの活動の機会など設定できたらと考えます。
保 護 者 へ の 説 明 等	12	事業所を利用する際に、運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明がありましたか。	20	0	0	0	(特になし)	今後も継続して丁寧な説明を行ってまいります。
	13	「放課後等デイサービス計画」を示しながら、支援内容の説明がなされましたか。	20	0	0	0	(特になし)	今後も継続して「放課後等デイサービス計画」を示しながら、支援計画の説明を行ってまいります。
	14	事業所では、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等も参加できる研修会や情報提供の機会等が行われていますか。	8	6	1	5	(特になし)	ご家族に向けての研修会や情報提供の機会も検討したいと考えています。
	15	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの健康や発達状況について共通理解ができていると思いますか。	20	0	0	0	(特になし)	今後も継続して、保護者の方との情報連携・共通理解に努めたいと思います。
	16	定期的に、面談や子育てに関する助言等の支援が行われていますか。	20	0	0	0	(特になし)	今後も定期的な（6か月ごとの面談）漫談に伴い、必要な助言等を実施していきます。
	17	事業所の職員から共感的に支援をされていると思いますか。	20	0	0	0	(特になし)	今後も事業所の職員が共感的な支援を行えるよう努めたいと考えます。
	18	父母の会の活動の支援や、保護者会等の開催等により、保護者同士の交流の機会が設けられるなど、家族への支援がされているか。また、きょうだい向けのイベントの開催等により、きょうだい同士の交流の機会が設けられるなど、きょうだいの支援がされていますか。	10	5	1	4	・イベント会場が遠い ・兄弟への支援はなし	今後、必要に応じて研修や講演会などの機会も検討したいと考えます。
	19	こどもや家族からの相談や申入れについて、対応の体制が整備されているとともに、こどもや保護者に対してそのような場があることについて周知・説明され、相談や申入れをした際に迅速かつ適切に対応されていますか。	17	0	0	3	(特になし)	今後も継続して、ご家族からのご相談・申し入れへの迅速かつ適切な対応に努めていきます。

	20	子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮がなされていると思いますか。	20	0	0	0	(特になし)	今後も継続して、意思疎通や情報伝達のための配慮をしてみたいと思います。
	21	定期的に通信やホームページ・SNS等で、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報や業務に関する自己評価の結果を子どもや保護者に対して発信されていますか。	14	3	1	2	(特になし)	今後も継続して、活動概要や「行事予定、などLINEやHPなどを通して発信に努めています。
	22	個人情報の取扱いに十分に留意されていると思いますか。	18	1	0	1	(特になし)	今後も継続して、個人情報の取り扱いには十分留意してまいります。
非常時等の対応	23	事業所では、事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等が策定され、保護者に周知・説明されていますか。また、発生を想定した訓練が実施されていますか。	16	1	0	3	(特になし)	今後、様々なマニュアル等の保護者の方への周知・説明を行っていききたいと思います。
	24	事業所では、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練が行われていますか。	13	1	0	6	(特になし)	避難訓練を火災時・震災時とそれぞれ年1回実施していますが、そのことの周知が不十分でしたので周知の機会を持つてまいりたいと思います。
	25	事業所より、子どもの安全を確保するための計画について周知される等、安全の確保が十分に行われた上で支援が行われていると思いますか。	13	3	0	4	(特になし)	子どもさんの安全を確保するための計画について、周知を徹底して行うよう意識していきたいと思います。
	26	事故等（怪我等を含む。）が発生した際に、事業所から速やかな連絡や事故が発生した際の状況等について説明がされていると思いますか。	16	1	0	3	非常時が今のところがない為不明です。	今後も事故等が発生した際の、速やかな連絡や説明に努めてまいります。
満足度	27	子どもは安心感をもって通所していますか。	20	0	0	0	・「音楽室ある！！」とカレンダーを見て嬉しそうに言っています。好きな先生もできて、名前が本人から出てくるのが本当にありがたいです。・落ちついて通所できていて感謝です。	今後も継続して利用の子どもさんが、安心感を持って通所できることを願って支援させていただきます。
	28	子どもは通所を楽しみにしていますか。	20	0	0	0	・他の事業所さんへは行き渋りがある中、音楽堂さんへは行き渋りがほとんどなく、通所を楽しみにしています。・とても有難いです。・楽しく通わせていただいていると思います。	今後も子どもさんが楽しく通所できるよう努めてまいります。
	29	事業所の支援に満足していますか。	20	0	0	0	・子供の特性をよく知ってくれて対応してくれています。・いつも本当にありがとうございます。	今後も満足していただける支援に努めてまいります。

公表

事業所における自己評価結果

事業所名		公表日				
あさぎり音楽堂児童デイサービス		2026年 1月 26日				
		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点
環境・体制整備	1	利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。	6	0	室内を、各子どもの状況に応じてスペースを分けたり、居場所をある程度決めることで子ども同士のトラブルを回避できるような工夫を行っています。	高学年で体力がついてきた場合のスペースの工夫が課題。現在日常的に使用していない部屋の活用。
	2	利用定員やこどもの状態等に対して、 職員の配置数は適切であるか。	6	0	事前に職員の送迎の動きなどを考慮した職員の配置の調整を行っています。	個別対応の児童に対する職員配置など、継続して調整を行っています。
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。	6	0	こどもにわかりやすい物の置き場所や構造をある程度固定化しています。一方で、その都度より使いやすい整備などに意識しています。	手洗い場所と食器洗いの場所の区別があったほうが良いと考えているので、今後解決のための検討したいと思います。
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、こども達の活動に合わせた空間となっているか。	5	1	生活空間の整備や環境の状況に目を配り、心地よく過ごせるよう室温・換気・空間の設定に気を付けています。	継続して空間の整備を行ってまいります。古くなった設備品（椅子や机など）の入れ替えを検討したいと思います。
	5	必要に応じて、こどもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。	4	1	各子どもの居場所が、その子どもにあった場所になるように机や椅子を移動したり、必要に応じて別室も利用しています。	別室がより使いやすい場所になるように整備したいと思います。子供の手洗い場所を工夫できたらと考えています。
業務改善	6	業務改善を進めるためのPDCA サイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参画しているか。	6	0	広く職員が参加できるような機会を持つように意識していますが、直接に話し合いが持たない場合でもLINE等を活用して情報共有に努めています。	継続して、PDCAサイクルがスムーズに進むようにより意識して進めていきます。
	7	保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	6	0	6か月ごとに実施している面談の機会において、個別の意向を把握できるように工夫しており業務改善につなげています。	継続して、保護者の意向の把握に努め。業務改善につなげていきます。
	8	職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	6	0	企画検討の際など、職員の意見が表出しやすい環境設定に意識して業務改善にもつなげています。	継続して、機会を設けより業務改善につながるようにしたいと思います。
	9	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。	5	1	第三者からの外部評価の機会が持てるよう、意見を求める意識を持つように心がけています。	第三者による外部評価の機会をより意識して業務改善につなげていきます。
	10	職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内で研修を開催する機会が確保されているか。	6	0	研修の機会をもちらせるよう、パンフレット掲示や口頭での周知など行っています。	より研修できる機会を情報として周知できるようにしていきます。
適切な支援の提供	11	適切に支援プログラムが作成、公表されているか。	6	0	支援プログラムは適切な流れの中で作成し、保護者への提示、相談支援事業所への提出など実施しています。	今後も適切な支援プログラムの公表・提示に努めます。
	12	個々の子どもに対してアセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成しているか。	6	0	保護者のニーズや課題を、面談の機会などのほか日常の送迎時の聞き取りなども情報として鑑みて、計画の作成に生かしています。	今後も継続して客観的な情報の分析をもとに、より適切な計画作成につなげていきます。
	13	放課後等デイサービス計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、こどもの支援に関わる職員が共通理解の下で、こどもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	6	0	児童発達支援管理責任者が計画作成を行う際に、子どもにかかわる職員の意見や共通理解を元に行うよう、子どもの最善の利益を考慮して作成にあたるよう努めています。	今後も継続して、職員の共通理解のもとサービス計画の作成を行っています。
	14	放課後等デイサービス計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	6	0	6か月ごとに新たに作成した計画内容が、職員に行き渡るように内容を紙面に提示して支援に結び付けられる工夫を行っています。	今後も継続して、計画の内容が支援に結びつくよう努めていきます。
	15	こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	5	1	保護者からの検査の結果をアセスメントとして活用させてもらうなど、より正確なアセスメントを得られるよう行っています。	新たなアセスメントツールも必要に応じて活用できればと考えます。
	16	放課後等デイサービス計画には、放課後等デイサービスガイドラインの「放課後等デイサービスの提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、こどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。	5	1	放課後等デイサービスガイドラインのそれぞれのねらいや支援内容を踏まえて、支援内容を設定するように意識しています。	今後も継続して努めていきます。
	17	活動プログラムの立案をチームで行っているか。	6	0	活動プログラムの立案をチームで行えるような話し合いや意見交換の機会を持つことを行っています。	今後も継続して実施していきます。
	18	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	6	0	それぞれの活動の中でその状況に応じた変化や変化をもたらすように工夫してプログラム構成を行っています。	同ような活動内容になりがちではあるのですが、新たな活動プログラムも取り入れていきたいと考えています。

	19	こどもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成し、支援が行われているか。	6	0	子どもの状況に応じた個別活動と集団活動は適宜組み合わせで行えていると思います。	今後も継続して実施していきます。
	20	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	6	0	できうる限りの職員間での事前打ち合わせを実施しています。	今後も様々なツールも活用しながら、職員間の連携に努めていきます。
	21	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	5	1	送迎の兼ね合いなどから2～3名での職員ミーティングになることも多いので、翌日にLINEなどで伝達して共有・周知しています。	今後も気づいた点などが職員間に共有・周知できることでより良い支援につなげられるよう努めていきます。
	22	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	5	0	日々の支援の記録は、ケース記録として残しつつ月毎にまとめて支援の検証・改善につなげられるよう努めています。	今後も継続して努めていきます。
	23	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	5	0	定期的なモニタリングを6カ月毎に実施し、適切な見直しを行っています。	今後も継続して実施していきます。
	24	放課後等デイサービスガイドラインの「4つの基本活動」を複数組み合わせ支援を行っているか。	6	0	放課後等デイサービスガイドラインの基本活動を複数組み合わせた支援を意識して支援を行っています。	今後も継続して実施していきます。
	25	こどもが自己選択できるような支援の工夫がされている等、自己決定をする力を育てるための支援を行っているか。	6	0	取り組む活動内容の自己選択の機会をもち、こどもが自発的な取り組みができるよう工夫しています。	今後も継続して実施していきます。
関係機関や保護者との連携	26	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。	5	1	関係機関との会議には、こどもの状況をよく理解した職員が参画しています。	今後も継続して実施していきます。
	27	地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	6	0		今後も継続して実施していきます。
	28	学校との情報共有（年間計画・行事予定等の交換、こどもの下校時刻の確認等）、連絡調整（送迎時の対応、トラブル発生時の連絡）を適切に行っているか。	6	0	学校からの情報共有を行い、連絡調整も随時適切に実施できていると思います。	今後も継続して実施していきます。
	29	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか。	5	1	必要におうじて、就学前の事業所等との情報共有や相互理解を行っています。	今後も継続して実施していきます。
	30	学校を卒業し、放課後等デイサービスから障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか。	6	0	必要に応じて、卒業後の障害福祉サービス事業所等へ情報提供等していきます。	今後も継続して実施していきます。
	31	地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要等に応じてスーパーバイズや助言や研修を受ける機会を設けているか。	4	1	現在はそのような必要性がありませんが、以前にはそのような機会を設けて支援につなげて行っています。	今後も継続して実施していきます。
	32	放課後児童クラブや児童館との交流や、地域の他のこどもと活動する機会があるか。	4	2	現在はそのような機会がありません。	今後は機会を持てたらと考えます。
	33	（自立支援）協議会等へ積極的に参加しているか。	5	1	可能な状況の中で参加するようにしています。	今後も可能な状況で、参加できたらと考えます。
	34	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。	6	0	送迎時を含む機会を活用し、保護者との相互の情報交換とこどもの共通理解に努めています。	今後も継続して実施していきます。
保護者への	35	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム（ペアレント・トレーニング等）や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。	6	0	現在は実施出来ている状況ではありません。	今後は機会を検討し実施できたらと考えています。
	36	運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	5	1	契約時などに、支援プログラム、利用者負担などの説明を行っています。	今後も、より丁寧な説明を行っていききたいと思います。
	37	放課後等デイサービス提供を作成する際には、こどもや保護者の意思の尊重、こどもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、こどもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	6	0	放課後等デイサービスの支援計画の作成内容は、こどもや保護者の意向が反映できるように確認の機会を持つようにしています。	今後も継続して実施していきます。
	38	「放課後等デイサービス計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から放課後等デイサービス計画の同意を得ているか。	6	0	保護者に対して、支援計画の内容を説明し同意を得て支援につなげています。	今後も継続して実施していきます。
	39	家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	6	0	家族からの相談には極力時間を取って対応を行うよう、また必要な助言や支援を行えるよう努めています。	今後も継続して実施していきます。
	40	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。	3	3	現在はそのような機会はつくれてはいません。	今後は機会を検討し実施できたらと考えています。

説明等	41	子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	6	0	苦情を受けつけた場合には迅速かつ適切に対応するよう努めています。	今後も継続して実施していきます。
	42	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか。	5	1	活動内容や行事予定を、月間の利用申込書に記載するなどで発信しています。	今後も継続して実施していきます。
	43	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	6	0	個人ファイルは施錠した書棚に保管しており、個人情報の取り扱いには留意しています。	今後も継続して実施していきます。
	44	障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	6	0	意思の疎通がわかりやすく的確であるよう配慮を行っています。	今後も継続して実施していきます。
	45	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。	6	1	地域の高齢者の方への体操教室のために場所の提供を行うなどの地域にひらかれた事業運営に努めています。	今後も継続して実施していきます。
非常時等の対応	46	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	6	0	マニュアルの策定を実施し、1年間に避難訓練（地震・火災）を実施しております。	今後も継続して実施し、より保護者への周知に努めていきます。
	47	業務継続計画（BCP）を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。	6	0	BCPの策定を行い、必要な訓練も実施しております。	今後も継続して実施していきます。
	48	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認しているか。	6	0	契約時には、服薬状況、転換等の確認や情報を提供してもらい状況の確認を実施しております。	今後も継続して実施していきます。
	49	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。	6	0	現在は該当する利用者はおられません。	今後は必要に応じて対応していきます。
	50	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	6	0	安全計画を作成して、安全には十分配慮した支援に努めています。	今後、より安全に配慮して訓練など実施していきたいと思います。
	51	こどもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか。	6	0	安全確保に関しての家族との連携は行うよう努めています。	今後、よりご家族への周知に努めたいと思います。
	52	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	5	1	ヒヤリハットは事業所内で共有しており、再発防止の方策も検討しています。	今後も継続して実施していきます。
	53	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	6	0	定期的な虐待防止のための研修会を実施しております。	今後も継続して実施していきます。
	54	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載しているか。	6	0	身体拘束について、定期的な研修を行い必要な確認を保護者の方に行い了解を得ています。	今後も継続して実施していきます。